



下都賀地区人権教育指導者一般研修「人権フォーラム」

6月13日(木)城址公園ホール(壬生中央公民館)にて、下都賀地区人権教育指導者一般研修「人権フォーラム」を開催しました。

講師として、東洋英和女学院大学名誉教授 石渡 和実 氏をお招きし、「誰の心にもある差別意識を考える～障害のある人もない人も共に生きる社会を目指して～」をテーマに講演会を行いました。障害者に関わる条例や法律、合理的配慮の説明や障害者差別の実態、やまゆり園事件の背景と優生思想について丁寧にお話いただき、参加者一人一人が自分の中にあるかもしれない、障害者への偏見や差別の心について真剣に考えることができました。

誰もがかけがえのない存在であると感じられる機会づくりの大切さ、「いいとこさがし」をベースとした共生社会の実現のために必要なことについて考えを深める貴重な機会となりました。

《参加者の感想》

- ・ 障害の有無に関わらず、誰にでも当てはまる『人』として大切な話だったと思います。
- ・ 合理的配慮の意味を『笑顔が出るような接し方』と補足してくださり、より理解できました。
- ・ 対話をし、「どうしたらできるか」と一緒に考えていくことが大切という言葉が心に残りました。



下都賀地区 PTA 指導者研修 I

6月28日(金)野木町文化会館(野木エニスホール)にて、下都賀地区 PTA 指導者研修を開催しました。

単位PTAの指導的役割を果たしている保護者及び学校教職員を対象に、テーマを「PTA 活動の目的・指導者の役割」として講話・意見交換を行いました。講話の中では、令和5年12月に策定された「こども大綱」の内容にも触れ、その中でも特に「こどもの意見聴取」について取り上げました。今後、様々な取組を計画する上で、子どもの意見を聞き、取り入れながら行うことが必要とされていることから、各単位 PTA 活動においても、どのような取組ができるのか、グループで意見交換をしました。

各単位 PTA の特色ある取組や運営方法等の情報交換もしながら、各 PTA 指導者が、今後の活動の在り方について考える有意義な時間となりました。

《参加者の感想》

- ・ こどもまんなか社会についてとても考えさせられるものがあり、子どもの意見をもっと多く取り入れていくことの大切さを知りました。
- ・ 他校の方々との意見交換はとても参考になり、今後の PTA 活動、学校、地域の連携に役立てたいと思います。



栃木市生涯学習課

「日々進化するオピニオンリーダー会」

栃木市では、6つの家庭教育オピニオンリーダー会が地域ごとに独自の活動を展開しています。そこでは親子の体験活動や子育てサロン、子育て講座のファシリテーターなど、多岐にわたる活動を行っています。

また、オピニオンリーダーと家庭教育公民館担当者が集まる家庭教育支援連絡会を年5回開催し、情報交換や勉強会を実施しています。勉強会では、ビデオに撮った子育て講座の様子を見ながら、講座の進行方法や保護者との関わり方、声掛けの仕方などを学び、子育て講座のバージョンアップに励んでいます。

今年度は新たな試みとして、地域のイベントに参加し、家庭教育の大切さを広げる活動を行う予定です。日々進化するオピニオンリーダー会の活動に御期待ください!!



【ビデオリフレクションの様子】



【ハッピー子育て講座の様子】

下野市南河内公民館

「南河内公民館青少年教育講座『親子で体験!2024』」

講師である「下野市自然に親しむ会」は、環境保全や生物調査などを通じて自然とのふれあいを深めるボランティア団体です。子どもたちにも自然の素晴らしさを体験してもらおうと、「親子自然観察会」として平成25年から講座が始まり、現在、年3回の自然観察講座を実施しています。

会場となる下野市の蔓巻公園は、川や草原、雑木林と豊かな自然が広がり、多様な生き物や植物が生息しています。親子で一緒に虫や植物、鳥、水中の生き物を探しながら、会のメンバーがその場で疑問に答えたり、自然の面白さを語り合ったりなど、参加者同士の交流も活発です。

このような活動を通して、子どもたちは自然への興味関心を深めるとともに、地域社会の一員としての意識を育みます。また、保護者にとっても、子どもと自然の中で過ごす時間は、心身のリフレッシュや家族の絆を深める貴重な時間となっています。

自然を舞台に、地域と家庭が一体となって学び合い、成長し合うかけがえのない場となっています。



社会福祉法人パステル

「おとめ畑で音楽マルシェ」～パステル野外コンサートの開催～

「おとめ畑で音楽マルシェ」は、山村多恵子オカリナ奏者を指導者に迎えて、オカリナを楽しんでいる「ララベリー」の会が、パステルにおいて野外コンサートを開催します。テーマは「おとめ畑で音楽マルシェ」です。期日は、9月21日。会場は、CSWおとめの野外です。緑あふれるおとめ畑が笑顔でいっぱいコンサートとなることを夢見ております。参加者は、地域の御希望する皆様です。オカリナ演奏は勿論、フルートあり、アンデスのケーナあり、パステル利用者の演歌あり、ドイツの楽器ヘルマンハーブあり、ギターあり、などなど。幕開けは、パステル利用者のエアオーケストラではじまり、幕締めは、演奏者全員による「花は咲く」です。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。